

「ココロ合せ♡チカラ合せ」 防災ネットしょうなん

BOSAI Never Ending Tension~終わりになき緊張感



ヒマワリはまちのシンボルです

2025 (令和7) 年10月10日／第110号

自然災害に強いまちづくりをめざしましょう！

風早北部地域ふるさと協議会

今年度の市民参加型防災訓練が当地域内でも始まります 先ずはより多くの住民の皆さんの訓練参加と 正しい防災知識／情報を知ることから・・・

6月から7月にかけて、鹿児島県トカラ列島の群発地震が継続し、地元では不安な日々が続きました。日本時間 7 月 30 日のカムチャツカ半島沖地震は、津波警報が発令、沿岸市民は長時間の不安を強いられました。また、昨年からは南海トラフ巨大地震に関する話題がマスコミ報道で途切れることなく、今年に入ってから、本地震の影響による富士山噴火に関する政府関係機関の再検討も本格的に行われています。

7月1日付で政府の防災対策推進基本計画の見直し版が公表され、「火山噴火」を想定した計画内容の修正が各項目に数多く盛り込まれました。富士山噴火(本号 5/23 付号外で案内済み)も近い将来では決して絵空事とは言い切れないと考えましょう。

いずれにせよ、そう遠くはない将来に大規模災害が起こる可能性が徐々に高まっていることが複数の防災専門家の発言からも明らかです。私たち一般住民は、毎年行われている柏市による相変わらずの「ぬるま湯的※な防災対策」に頼ることなく、それぞれの地域団体や町内お隣通しでの災害対策、具体的には防災訓練などを実施される場合は、積極的な運営や訓練参加をご家族でお願いします。 ※災害本番を想定した実践的訓練からは依然距離があるという意味です。

わたしたちも風早北部地域ふるさと協議会が推奨する防災訓練は以下のとおりです。

- 発災時に自分の命を守る行動（例：シェイクアウト訓練）
- 庁内住民の安否確認訓練
- 上記安否確認結果を電話やメール以外の手段(基本は無線機を使用します)で市の災害対策本部宛てに通報する訓練
- 最寄り避難所への安全な住民移動訓練
- 避難所での初動訓練（例：避難住民受け入れ態勢の確立など）

次頁は上記避難訓練時に実施予定の防災講習会のご案内です。どうかご聴講ください。

防災ネットしょうなん 第110号

今年の防災講習会のテーマは「災害時のトイレ」です。大きな自然災害発生に際して、住民が非常に困る大きな課題の一つが間違いなくトイレの確保です。なぜなら、断水で汚水が流せなくなったり、仮に流す水があっても排水管の損傷で水洗が使えなくなるからです。水洗トイレが使えなくなるとの認識がないと、最悪、汚物が逆流し、屋内や集合住宅隣家が例えようのない被害に遭ってしまいます。現時点での各避難所での防災講習会の実施日程は以下の通りです。個別に講習会を開催して欲しい、といったご要望も事前に承ります※。講師への謝礼等は当会が負担し、ご要望団体での費用負担は特にありません。講習会に関する詳しい照会、個別の講習会実施のご要望は、こちらまでメールでお願いします。※講師や会場の手配が叶わない場合はご容赦ください。



boux2@kazakita.org

住民参加防災訓練での講習会実施日程（8月15日時点）・主催代表団体
10月 5日日曜日・午前中 風早中学校（会場は体育館：以下同様）・塚崎区
11月 2日日曜日・午前中 大津ヶ丘第一小学校・大井区中の橋町会
11月16日日曜日・午前中 大津ヶ丘第二小学校・大津ヶ丘四丁目町会
上記日程の詳細は、訓練の各主催団体から個別にお知らせを予定しています
（主催団体以外の住民の皆さんは当会にご照会ください。☎04-7157-3488）

阪神淡路大震災をご経験された一般住民の方をお招きし、災害時に本当に困ること、その中でも特に深刻な「トイレ問題」を取り上げます。是非、ご聴講ください。



今回は定期配信日である10月15日を10月10日に変更して発行しています。何卒ご了承ください。